

依テ雙方ノ陳述ヲ聽キ說明スル左ノ如シ

原告陳述ノ要點ハ町村制第五十六條第二項中但書ノ規定ハ之ヲ收入役ニ適用スヘキモノニアラス又假令ヒ有給町村長有給助役收入役等公民權ヲ有スルモノトナスモ町村制第十二條ノ選舉權ヲ有スルモノニアラスト云フニ在リト雖モ町村制第六十二條第三項ノ規定中單ニ第五十六條第二項ヲ適用ストアリテ其但書ハ適用セストノ明文ナキノミナラス當選ト云ヒ選任ト云フモ毫モ其意義ニ異ナルトコロナシ又原告ハ第五十六條第二項ノ所謂公民權ナルモノハ町村制第七條ノ要件ヲ具備シタル普通公民權ト異ナルモノナリト主張スルモ町村制中二種ノ公民權アルヘキノ理由ナク隨テ町村制第五十六條第二項ニ依リ公民權ヲ得タル收入役ハ同法第十二條ニ規定シタル選舉權ヲ有スルモノト爲サ、ルヲ得ス故ニ被告ニ於テ收入役阿部龜助町會議員選舉人名簿ニ登載シタルハ之ヲ不當ナリト謂フヲ得ス

右ノ理由ニ依リ判決スル左ノ如シ

原告ノ請求相立タス

訴訟入費ハ原告ノ負擔トス

明治二十四年九月二十五日行政裁判所公延ニ於テ宣告ス

○裁判宣告書

石川縣珠洲郡會議長石川縣球洲郡長

原告 國枝 逸蟻

石川縣球洲郡長

被告 國枝 逸蟻

右原告石川縣球洲郡會議長ヨリ被告石川縣球洲郡長ニ對スル不當處分取消ノ訴文書ニ就キ遂審理處

原告訴求ノ要旨ハ被告石川縣球洲郡長國枝逸蟻ハ明治廿四年八月十二日珠洲郡會カ議決シタル郡會議員米谷作右工門ハ無資格ナリト、通知ニ對シ同月三十一日再議ヲ爲サシメシニ郡會ハ前議決ヲ變セサルニヨリ被告ハ郡制第七十五條ニ依リ縣知事ノ裁決ヲ請ヒ其裁決ヲ受ケタルニ郡會ハ之ニ服スル能ハス爲メ本訴ヲ提起スルモノニシテ其事實ハ珠洲郡崎島村々會ニ於テ郡會議員ヲ選舉セシメ米谷作右工門酒尾庸三ノ兩名高點者トナリ何レモ過半數ヲ得サルヲ以テ其兩名ニ付決選投票ヲ爲スニ當リ米谷作右工門ハ同村長及議員ノ職ニアリナカテ自己一身上ノ關係ヲ顧ミズ及議員酒尾庸三ヲモ退席セシメスシテ其ニ抽籤ニ與リシハ町村制第四十五條ノ規程ニ違背シタル選舉ナルヲ以テ村會ニ於テハ郡制第廿四條ヲ適用シ前記米谷作右工門ハ議員ノ資格ナキ者ト決議ヲ爲シタルモノニシテ抑第廿四條議員ノ資格トハ第一被選資格第二當選手續ノ正當第三有効投票多數ノ三要件ヲ指スモノニテ當選手續ノ正否モ含有セルモノト言ハサルヲ得ス若シ然ラストモ村長兼議員米谷作右工門ハ決選投票ニ際シ自己一身ニ關係アルニモ拘ハラズ尙議席ニ列リ投票ヲ行ヒ違法ヲ以テ選舉セラレ而シテ之カ不正ヲ匡サント欲スル者不幸ニシテ故障ヲ被リ空シテ訴願期日ヲ經過セシニ依リ米谷作右工門ノ如キ者ヲモ尙議會ニ參列セシメサルヲ得ス法豈如斯ノ不完備アラソ故ニ郡會ノ議決ハ法律ノ範圍外ニ出テタルモノニアラスト云フニ在リ



被告答辯ノ要旨ハ原告ニ於テ郡會カ郡制第廿四條ヲ適用シ米谷作右工門ヲ議員ノ無資格者ト決議シタルハ法律ノ範圍外ニ涉ルモノナラスト云フト雖郡制第廿四條ハ同制第九條第十條第十一條ノ議員トナルヲ得ヘキ資格ノ要件ニ缺クル所アルヲ發見シタル場合ニ於テ適用スヘキモノニシテ選舉ノ當否ニ關シ之ヲ適用スヘキモノニアラス其選舉ニ關シテハ郡制第二十二條ノ規定アリテ選舉ノ當否ハ議員資格ノ要件ニアラサルハ明カナリ況ンヤ郡制第十七條ニハ特ニ町村制第四十六條ノ規定ニ從フヘシトアリテ其他ノ手續ハ議會ノ自由ニ任シタルモノナリ米谷作右工門ノ選舉ハ該條ヲ適用シタルモノニテ違法ノ選舉ニ成立タルモノニアラス要スルニ郡會ハ議員ノ資格ト選舉ノ手續トヲ混シ法律ノ解釋ヲ誤リタルモノナリト云フニ在リ

依テ雙方ノ證據ヲ閱シ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ  
郡制第廿四條郡會ニ於テ其議員中議員ノ資格ヲ有セサル者アルコトヲ發見スルトキハトアルハ單ニ同制第九條乃至第十一條ニ規定シタル郡會議員タルノ要件ヲ具有セサルモノヲ發見シタル場合ヲ謂フモノニシテ郡會議員ノ選舉ノ効力ニ關シ異議アルモノ、如キハ右第二十四條ノ範圍ニ入ラサルモノトス故ニ本件石川縣珠洲郡會カ爲シタル議決ニ對シ被告カ郡制第七十五條ヲ適用シタルハ不當ナリト謂フヲ得サルモノトス  
右ノ理由ニ依リ判決スルコト左ノ如シ  
原告ノ請求相立タス  
訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

明治廿四年十二月十二日行政裁判所公廷ニ於テ宣告ス

○裁判宣告書

- 鹿兒島縣薩摩國谿山郡谷山村士族農
- 田中彦七外二十二名總代兼同縣同國
- 同郡同村下福元六十二番戶平民農
- 原告 地 福 順 助
- 同縣同國同郡同村和田二百八十二番
- 戶士族農
- 原告 堀 興 憲
- 同縣同國同郡同村松崎三十六番戶平
- 民農
- 原告 是 枝 良左衛門
- 同縣同國同郡同村山田百四十八番戶
- 平民農
- 原告 寺 田 善 丞
- 同縣同國同郡同村中二百四番戶農
- 原告 國 料 彦 八
- 同縣同國同郡同村五ヶ別府九十一番



戶士族農

原告 松田 實徳

鹿兒島縣薩摩國谿山郡谷山村村長

被告 伊地知 季治

右原告地福順助外五名ヨリ被告伊地知季治ニ對スル村會議員選舉不當ノ訴遂審理處

原告陳述ノ要旨ハ去ル明治二十二年四月二十三日二十四日ノ兩日ニ執行シタル谷山村會議員ノ選舉ハ不當ナルモノニシテ第一明治二十二年四月十八日午後第一時元戶長役場用掛山下兼斌ハ谷山村大字松崎百四十一番戶是枝助太郎宅ニ出張ノ上同所住川島淺右衛門ヲ招集シ議員選舉ノ事ニ干涉シタルハ服務紀律ト犯シ職務時間ニ職役ヲ離レタルノミナラス自由投票ノ權利ヲ抑壓スルモノナリ然ルヲ被告ハ伊地知季治山下兼斌伊集院兼才是枝助太郎カ提出シタル書面ニ依リテ選舉ノ事ニ干涉セサルハ明瞭ナリト云フモ伊地知ハ當時本會ノ掛長山下ハ分會ノ掛長ニシテ其後伊地知ハ村長ニ山下是枝ハ議員トナリ伊集院ハ當時其不正ヲ唱ヘ訴願ヲ首唱セシモノナレトモ訴願中有給助役ニ選舉セラレタル爲メ訴願ノ連名ヲ脱シタルモノナレハ是等四名ノ書面ハ證ト爲スニ足ラズ第二谷山村大字上福元字山毛方限濱田新兵衛ナルモノハ選舉人ノ依頼ナキニ投票用紙ニ選舉人名ヲ記載封緘ノ上選舉人入直兵衛へ差出シタルヲ以テ直兵衛ハ其儘返付シ他ヲ開合タルニ同様ノ所爲アリタルハ鳥越十畝ナルモノカ受納ノ儘選舉場へ差出サスシテ控置タル投票ニ直兵衛ヨリ證明書相添差出クモノ及永里藤左衛門外四名ノ證明及鹽屋住岩崎英助外二人カ郡長へ差出タル上申書其他

ニ依リテ明カナルモノニシテ且之ヲ開封スレハ五圓ノ罰金ヲ徴收セラレハント言ヒタルハ増田宇右衛門ヨリ差出タル證明書ニ依リテ證スルニ足レリ然ルニ被告ハ投票用紙配付簿ニ選舉人各自カ領收ノ押印ヲ爲シタルヲ以テ右等ノ事ナキハ明カナリト云フモ上福元銘方限及鹽屋ノ如キハ選舉會三日以前ニ配付簿ヲ各選舉人ニ示シ捺印致サセ現票ハ開會ノ當日被選人ヲ明記シ封緘ノ上相渡至急會場へ投票可致旨嚴達シタルハ相違ナキ事實ナリト第三選舉ノ當時選舉用紙ヲ濫用シタル事實アリ則チ谷山村大字五ヶ別府駒走次右衛門其他ノ者ハ元來無筆ナルヲ以テ被選人名記載方依頼ノ爲メ元中村瀬戶口喜左衛門方へ相越タルニ同所永井慶藏等喜左衛門ノ家ニ在リ記名依頼ノ用紙ハ其儘差置豫メ封緘シタルモノト引替ヘ之ヲ以テ選舉會場へ差出スヘキ旨ヲ示シタルト元下福元村ノ内選舉人川村助八中窪仙兵衛外數名カ川野豐武へ代筆ヲ依頼シテ投票ヲ製シタル後小倉重敬ナル者來リ此投票ヲ差出スハ不都合ナルニ付書改ムヘシトテ自身ニ所持シタル投票用紙ニ記名替ヘタルコト是ナリ第四谷山村大字松崎居住緒方辰五郎カ選舉會場ニ出頭ノ途中同所黒木長左衛門ハ種々ノ口實ヲ述ヘ自身所持ノ投票用紙へ隨意ニ被選人名ヲ記載封緘シタルモノヲ辰五郎へ繰替渡シタル事實ハ是枝權藏ヨリ差出タル證明書ニ依リテ明瞭ナリ第五選舉掛定員中出頭前或ハ不在中ニ選舉事務ヲ執行セシハ訴願ノ際村會へ差出シタル松田實徳是枝良左衛門ノ證明書ニ在ル如クニシテ同制第二十條ニ違背シタルモノナリ第六無資格者選舉場ニ立入ルハ町村制第二十一條ノ禁スル所ナルニ無資格者ニテ立入リタルモノアリ又無資格者ニテ選舉事務ヲ取扱ヒタルアリ而シテ被告ニ於ケハ當時ノ用掛古垣與右衛門鬼丸半左衛門ノ兩名カ選舉會場



ニ入りタルモ此兩名ハ公民權ヲ有スルモノナリト云フモ兩名ハ本會區域内ノ選舉人ナルカ故ニ分會選舉場中ニ入ルヲ得サルモノトス右ノ通ナルニ依リ該選舉ノ取消ヲ要求スト云フニ在リ

被告答辯ノ要旨ハ原告ニ於テ第一村吏カ服務時間ニ職役ヲ離レ選舉ノ事ニ關シ威權ヲ弄シテ選舉ヲ行ハシメタリト云フモ是等ノ事ナキハ村會裁決書中伊地知季治山下兼斌伊集院兼才是枝助太郎カ提出ニ係ル書面ニ明カナリ第二世話人カ被選人名ヲ記載シタル封緘ノ投票ヲ選舉人ニ配付シタリト云フモ現ニ被告カ保管ニ係ル投票用紙配付簿ニ選舉人各自カ投票用紙領受ノ押印ヲ爲シタルニ依リテ明カナルノミナラス村會裁決書中長倉友之丞竹下胤典等カ提出ニ係ル書面及選舉人各自カ現ニ自ラ選舉場ニ出頭投函シタルニ依リテモ明白ナリトス第三投票用紙ヲ濫用シタリト云フモ一人一枚ノ外配付シタルコトナク其證ハ一人一票ノ外投函シタルモノナキヲ以テ知ルヲ得ヘシ第四黒木長左衛門ハ緒方辰五郎カ選舉會ニ出頭ノ途中ヲ待受ケ自己所持ノ用紙ヲ以テ取替タリト云フト雖モ其事實ハ一時貸借シタルモ其儘返付シタリト云フニ止マリ暴行脅迫他ノ權利ヲ妨ケタルニアラス其詳細ハ村會裁決書中黒木長左衛門等カ提出ニ係ル書面ニ依リテ明カナルノミナラス緒方辰五郎カ投票ヲ松元直八等カ脅迫シテ改書シタリトモハ選舉掛ニ向テ相當ノ異議ヲ申立可キニ本人異議ナク投函シタルハ自ラ信スル人ヲ投票シタルニアラスシテ何ソヤ第五選舉掛定員出頭前或ハ不在中事務ヲ執行シタリト云フモ斯ノ如キノ事アリトモハ原告總代ナル松田實徳是枝良左衛門ハ當時選舉掛トシテ列席シタル者ナルニ其當時之カ異議ヲ申立スシテ選舉終了後數月ノ後

ニ申立ヲ爲スヲ以テモ其事實ニ反スルヲ知ルヲ得ヘシ第六選舉會場ニ無資格者立入タリト云フハ是枝良左衛門ヨリ提出シタル書面ニ依リタルナルヘシ然トモ是亦選舉終了後數箇月ノ後ニ於テ爲シタルモノコシテ是枝良左衛門ハ選舉掛ノ位置ニアリナカラ當時何等ノ異議ヲモ申立サルノミナラス選舉録ニ署名調印シタルモノナリ假ニ原告ノ言フ如ク當時ノ用掛タル古垣與右衛門外一人カ分會場ニ立入タリトスルモ同人等ハ公民權ヲ有スルモノナレハ當時選舉ノ効力ニ妨碍ヲ及ホサハルモノトス故ニ明治二十二年四月二十三日二十四日ノ兩日ニ執行シタル谷山村會議員ノ選舉ハ正當ニシテ取消スヘキモノニアラスト云フニ在リ

依テ各證據ヲ閱シ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ  
原告ニ於テ戸長役場員カ職務時間ニ職役ヲ離レ人民ヲ招集シテ村會議員選舉ノ事ニ干涉シ又投票用紙被選人名ヲ記載シテ封緘ノ上配付シ又投票用紙ヲ濫用シ及選舉會場ニ出頭ノ途中他人ノ投票ヲ改書シタル等ノ申立ハ其事實明確ナラサルノミナラス各選舉人ニ於テ規定ニ從ヒ自身ニ投票ヲ了シタル上ハ其選舉ハ無効ナリト謂フヲ得ス其他原告ハ選舉掛定員中闕席ノ者アルニ拘ハラヌ選舉事務ヲ執行シ又ハ無資格者カ選舉會場ニ立入タリト云フモ選舉掛定員中一時闕席シタルモノアルノ故ヲ以テ其選舉ヲ取消スヲ得ヘキモノニアラス又其無資格者カ選舉場ニ入りタリトノ申立ハ其證トナスモノナク且古垣與右衛門外一人カ分會選舉場ニ在リシコトハ原告雙方ノ認ムルトコロナルモ右兩人ハ選舉權ヲ有スルモノナルニ依リ町村制第二十一條ニ背キタリト謂フヲ得サルモノトス其他原被告ニ於テ論述スルトコロアリト雖緊要ナラサルヲ以テ一一之カ説明ヲ與ヘス



右ノ理由ニ依リ判決スルコト左ノ如シ  
本件谷山村會議員ノ選舉ハ取消スヲ得サルモノトス  
訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

明治二十四年七月三日行政裁判所公延ニ於テ宣告ス  
○裁判宣告書

千葉縣上總國武射郡睦岡村横田千二  
十五番地平民農  
原告 鈴木徳太郎  
同縣同國同郡同村中津田四百十五番  
地平民農  
同 花壇 文藏  
同縣同國同郡同村横田  
同 小川 軍次郎  
同縣同國同郡同村百九十三番地平民  
農  
同 土屋 直右衛門  
同縣同國同郡同村實門百六十九番地  
平民農

同 越川 藤吉  
同縣同國同郡同村沖渡百四十一番地  
平民農  
同 富谷 竹次郎  
同縣同國同郡同村戸田千五百二十番  
地平民農  
同 鈴木 信夫  
同縣同國同郡同村横田三百九十一番  
地平民農兼代人  
同 矢部 隆平  
同縣同國同郡同村麻生新田百六番地  
士族農兼代人  
同 瀬崎 鏡治  
同 同  
東京市日本橋區濱町二丁目十一番地  
平民代言人  
右訴訟代理人 浦田 治平  
千葉縣上總國武射郡睦岡村會議長  
被告 富谷 啓藏



東京市京橋區三十間堀一丁目一番地  
代理人 板倉中

右訴訟代理人 板倉中

原告檜木徳太郎外八人ヨリ被告富谷啓藏ニ掛ル村會議員選舉取消ニ關スル事ニ對シ被告代理  
人ハ妨訴ノ抗辯ヲ爲シテ依テ之ヲ審理スルニ

被告代理人抗辯ノ要旨ハ富谷啓藏ハ本訴選舉會ニ際シ睦岡村助役タリシカ村長事故アルカ  
爲メ其代理ヲ爲シタルモ明治二十四年四月十八日ヲ以テ睦岡村會議員助役ノ任ヲ辭シ其  
後原告カ訴訟ヲ提起シタル當時即チ本年八月十三日ニ在リテハ寔モ村會議員役場ノ事務ニ  
ハ關係セザリシナリ又原告ハ訴訟ノ裁決ヲ爲シタル村會議長ヲ相手取ルトセンカ富谷啓藏  
ハ原告ノ論旨ヲ賛成シ該選舉ハ有効ト爲シタルニ不服者鈴木日總ヨリ郡參事會ニ訴願シタ  
ルモノヨシテ原告ニ利益アル説ヲ取リタルモノヲ被告ト爲スノ理ナシ又富谷啓藏ニ現今村  
長ノ職ヲ奉スルモ元來本件訴狀記載ノ月日ハ富谷啓藏カ村長トシテ生レサル以前ニ係レリ  
而シテ其對手人ヲ追テ訂正セシト云フモ矢張村會議長ト記シアレハ到底被告ヲ誤ルモノト  
云フヘシ然ルチ今又睦岡村長ト訂正セシコトヲ請フト云フモ準備書面ノ對手人ヲ誤ル如キ  
ハ訂正ヲ許スヘキモノニアラス故ニ本訴ハ排斥ヒラレンコトヲ請フト云フニ在リ  
原告代理人反駁ノ要旨ハ本訴ハ睦岡村長富谷啓藏ヲ對手人ト爲スヘキチ村會議長富谷啓藏  
ト爲シタルハ誤リナレハ之カ訂正ヲ請フカ爲メ其願書ヲ今茲ニ携帶セリ開廷前ニ呈出スヘ  
キニ其時間ナカシナリ被告訴狀記載ノ月日即チ八月十三日ハ被告代理人ノ言フ如ク富谷啓

藏ハ元無役アリシモ訂正ヲ爲シタル際ハ既ニ被告ハ村長ニ就職シタル時ナリ全體本訴ハ睦  
岡村ノ代表者タル法人ヲ相手取ルモノナレハ當時富谷啓藏ハ無役中ナリトモ就職ノ今日ニ  
於テハ被告ノ位置ニ立ツヘキチ相當トス被告ハ對手人ヲ改訂スルヲ得スト云フモ民事訴訟  
法第九十六條第一項ニ依レハ些ノ差支アルチ視ヌ又町村制第三十九條ニ依ルニ村長村會議  
長ハ一身分體ナレハ之ヲ訂正スルモ訴ノ原因ヲ變更シタルモノニアラス若又訂正願ヲ聽届  
ラレシルニ於テハ村長ヲ參加セシメラレンコトヲ請フト云フニ在リ

依テ雙方ノ辯論ヲ聽キ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

本件ハ明治二十四年三月十三日睦岡村會議員補缺及增員選舉ニ起因スルモノナレハ當時ノ選  
舉掛長即チ村長ヲ對手人ト爲スチ相當ナリトス然ルニ本訴々狀送達前ニ於テ當時ノ村長ハ已  
ニ退職シ富谷啓藏就職シテ其事務ヲ繼承シタルモノナレハ富谷啓藏ハ被告タルノ責務ナシト  
云フヘカラス故ニ原告カ訴狀訂正ノ申立ニ對シ被告ハ異議ヲ述フルコトヲ得ス  
右ノ理由ニ依リ判決スルコト左ノ如シ

被告ノ妨訴抗辯ハ相立タフ

此裁判ニ關スル訴訟費用ハ被告ノ負擔トス

明治二十四年十二月二十六日行政裁判所公廷ニ於テ宣告ス

○裁判宣告書

山梨縣北巨摩郡駒井村下條村組合村

會議長



原告 古澤 明雄  
山梨縣北巨摩郡下條村百五十二番戸  
平民農

被告 小澤 喜左衛門

右原告組合村會議長古澤明雄ヨリ被告小澤喜左衛門ニ對スル組合村助役退職願ニ關スル處分ニ付知事ノ裁決ヲ不當トスルノ訴訟審理ヲ遂ル處

原告陳述ノ要旨ハ下條村小澤喜左衛門カ明治二十二年八月申駒井村下條村組合村會ニ於テ同組合助役ニ選舉セラレ爾來就職昨二十三年十二月ニ至リ病氣ノ趣ヲ以テ助役ノ職ヲ辭セリ當時村長志村喜三郎ハ本年一月八日ヲ以テ退職理由ノ當否ヲ村會ニ付セリ村會ニ於テハ同人カ退職ノ理由トスル所ハ疾病職ニ堪ヘスト云フト雖其疾病ハ事實職ニ堪ヘサルモノト認メ難キヲ以テ村會ハ町村制第八條第三項ヲ適用シ四箇年間公民權ヲ停止シ同年期間其負擔スヘキ村稅八分ノ一ヲ増課スルノ處分ヲ爲セリ然ルニ被告ハ之ニ服セスシテ同月十二日本部長ニ訴願シタルニ部長ハ其訴願ヲ理由アルモノト爲シ同人ノ辭職ニ對スル村會ノ議決ヲ取消シタル村會ハ之ニ服セス四月十五日ヲ以テ別紙第一號ノ訴願書ヲ本縣知事ニ提出シ五月四日別紙第二號ヲ以テ訴願ノ進申ヲ爲シタルニ同月二十三日別紙第三號ノ如ク北巨摩郡長カ小澤喜左衛門ノ訴願ニ對シ駒井村下條村組合會ノ議決ヲ取消ストノ裁決ヲ與ヘタルハ正當ニシテ取消スヘキ限ニ付ラスト裁決セリ然レトモ本會ハ該裁決ニ服スル能ハス其理由ハ被告カ辭職願ニ依レハ適ク瘡毒病ニ罹リ既ニ二十三年五月末ヨリ該病ヲ發シ同年九月頃ニ至リ治癒致候得共云々トアリ然ルニ同人ハ昨年六月十七日付ヲ以テ北巨摩郡役所ニ諸御賣ノ鑑札ヲ願ヒ同年六月ヨリ八月マテ三箇月間ハ役場ニ欲勤ノ事由ヲ告ケ請仲買ヲ以テ行商シタリ其事實ハ別紙第二號訴願書進申書ニ付屬シタル前村長志村喜三郎ノ回答書及別紙第四號北巨摩郡長ノ證明書ニ依リ明カナリ是レニ由テ之ヲ觀レハ同人カ辭職ノ理由トスル疾病ハ真正ノ疾病ニアラサルコト多言ヲ要セサルナリ何トナレハ同人ハ五月末ニ瘡毒病ヲ發シ同九月ニ至リ治癒シタリト云フニモ拘ラス發病ノ翌六月十七日ヲ以テ諸御賣ノ鑑札ヲ受ケ爾來專テ請仲買商ノ爲メニ諸方ニ奔走セリ而シテ其奔走ノ勞苦ハ壯健ノ者ニアラスノハ堪ヘサル所ナリ故ニ其疾病ヲ以テ真正ノ疾病ナリト認ムルヲ得ヌ又被告カ最初辭職願ニ醫師ノ診斷書ヲ添付シ能ハサル理由ハ同人ハ辭職ヲ爲スニ當リ醫師ニ有職務ニ堪ヘサルノ診斷書ヲ請求シタルモ之ヲ拒絕セシレ止ムヲ得ヌ辭職願ノ提出モリト聞ク然ルニ被告ハ當時醫師平賀良菴他行中ナルヲ以テ診斷書ヲ携帶シ志村喜三郎ニ面會シテ診斷書ノ添付ヲ申請シキタリト云ヒ又本年一月九日診斷書ヲ携帶シ志村喜三郎ニ面會シテ診斷書ノ添付ヲ申請シタリト陳述スルモ志村喜三郎ノ回答書ニ依テ見レハ其告知及診斷書ノ添付ヲ申請シタリト云フハ無根ノ事ナリ而シテ醫師平賀良菴ハ當時在宅ニシテ他行シタルコトナキハ別紙第六號復命書ニ依リ明カナリ又平賀良菴ノ診斷書ニ今後醫藥ハ勿論該病ニ効驗アル鑛泉ニ充分浴スルニ非レハ治癒シ難シトアリ然ルニ同人ハ辭職ノ前後更ニ鑛泉ニ浴シタルコトナシ又其後醫藥ヲ加ヘタルコトナキモ目下壯健ニシテ勞働ノ役ニ從事スルモ更ニ差支ナキハ衆目ノ保證スルトコロナリ故ニ醫師平賀良菴ノ診斷書ハ正當ナル診斷書ニ非ス以上陳述ノ理由



ニ依リ本會カ被告ノ辭職ニ對シ公民權停止及村稅增課ノ處分ヲ爲シタルハ決シテ不當ニア  
ラサルモノト確信ス依テ縣知事ノ下シタル裁決ヲ取消サレシコトヲ請求スト云フニ在リ  
被告答辯ノ要旨ハ原告ハ志村喜三郎ノ回答書及別紙第四號ノ二證ヲ提供シ被告ハ梅毒ニ罹  
レリト稱シナカラ爾仲買ヲ爲シタルハ其疾病ノ職務ニ堪ヘサル程ノモノニ非サルヲ證スト  
云フト雖被告ノ爾仲買ヲ爲シタルハ六月中旬以後七月マテニシテ疾病ノ再發ハ五月中ナリ  
トノ事實ヲ比照セハ此ノ訴旨ノ充分ナラサルコトハ明カナリ何トナレハ梅毒病ノ加キハ日  
夜間斷ナク苦惱スルモノニ非ラスシテ一日若ハ數日ノ間毫モ苦痛ヲ感セサルカ如キコトモ  
アリテ其間ニハ或職業ヲ爲スコトヲ得ルモノナレハナリ而シテ被告ハ原告カ云フ如ク壯健  
ノ者ニアラサレハ堪ヘサル程ノ奔走シテ仲買ヲ營ミタルニアラス加之被告カ退職ヲ願出タ  
ルハ遠シ十二月末ニアリ故ニ原告云フ如ク果シテ六七月頃ニハ疾病ニ非サリシトスルモ其  
際ノ疾病ヨリ推測シテ其後殆ト半年ヲ經過シタル十二月頃ニモ亦職務ニ堪ヘサル程ノ疾病  
ニ非ストシタル原告ノ決定ハ毫モ憑據ナキ漫然タル推測ナリ又原告提出ノ志村喜三郎ノ復  
命書ノ如キハ志村喜三郎ハ當時ノ村長ナリシヲ以テ原告ト利害ヲ共ニスルモノナレハ其證  
言タルヤ完全ノ効力ナク又別紙第六號ニハ數多ノ證言アリト雖何レモ醫師ノ同居者ニモ非  
サル他人カ其在不在ヲ證言スルモノナレハ何等ノ信憑力ナシ依テ原告ノ訴旨ハ棄却セシレ  
タシト云フニ在リ

依テ雙方ノ陳述ヲ聽キ理由ヲ說明スル左ノ如シ

原告陳述ノ要點ハ被告カ其辭職届出ヲ爲スノ當時醫師ノ診斷書ヲ添付セシメ又被告ノ疾病ハ事

實職ニ堪ヘサルモノト認メ難キヲ以テ村會ニ於テ町村制第八條第三項ノ處分ヲ爲シタルハ決  
シテ不當ノ處分ニ非ラスト云フニ在レトモ凡ソ町村ノ名譽職ニ選舉セラレタル者ニシテ町村  
制第八條第二項一ノ理由ニ依リ其職ヲ辭セントスルトキ其理由ノ當否ヲ町村會ノ議ニ付スル  
トキハ該議會ニ於テハ辭職届ニ醫師ノ診斷書ヲ添付シアルト否トニ拘ハラズ宜シク先ツ其事  
實ノ有無及其疾病ノ輕重等ヲ充分調査セサル可ラス而シテ假令疾病ノ實アルモ實際公務ニ堪  
ヘサルノ疾病ニアラス隨テ辭職ノ理由ナキモノト議決スルニ當テハ其職ヲ辭セントスル者ハ  
事實其職ニ堪ユルモノナリト確認シ得キ證據ナカリ可ラス何トナレハ疾病ハ固ト名譽職ヲ  
退クコトヲ得ルノ一理由ナレハナリ然ルニ原告ハ被告カ其辭職ノ數月前ニ爾仲買營業ヲ爲シ  
タルヲ以テ被告ノ疾病ハ公務ニ堪ヘサル程ノ疾病ニアラス又被告カ郡長ニ差用シタル醫師ノ  
診斷書ニ今後醫藥ハ勿論該病ニ効驗アル鑛泉ニ浴スルニ非サレハ治癒シ難シトアルニモ拘ハ  
ラス被告ハ其辭職ノ前後更ニ鑛泉ニ浴シタルコトナキヲ以テ見レハ醫師平賀真菴ノ診斷書ハ  
正當ナルモノニ非ラスト謂フト雖被告カ爾仲買ノ營業ヲ爲シタルコトアルヲ以テ其疾病ハ公  
務ニ堪ユルモノト認ムルヲ得ス又假令被告カ鑛泉ニ浴シタルコトナシトスルモ之ヲ以テ醫師  
ノ診斷書ノ正當ナラサルノ證ト爲スヲ得ス故ニ醫師平賀真菴ノ診斷書ハ正當ニシテ被告ノ疾  
病ハ事實職務ニ堪ヘサルモノト認メサルヲ得サルヲ以テ村會ニ於テ爲シタル議決ハ事實ノ誤  
認シタルモノト謂ハサルヲ得ス  
右ノ理由ニ依リ判決スル左ノ如シ  
原告ノ請求相立タズ



訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

明治二十四年十月一日行政裁判所公廷ニ於テ宣告ス

○裁判宣告書

茨城縣下總國豐田郡蘆岡村大字鯨五  
十番地平民農元村長

原告 國府田 利兵衛

東京府東京市京橋區加賀町一番地寄

留嶋根縣士族代官人

訴訟代理人 岸 清 一

茨城縣結城岡田豐田郡長

被告 稻村 政良

茨城縣結城岡田豐田郡書記

訴訟代理人 石 井 源次郎

右原告元蘆岡村々長國府田利兵衛ヨリ豐田郡長稻村政良ニ係リ懲戒處分取消ノ訴訟審理ヲ遂  
クル處

原告訴求ノ要旨ハ明治二十二年町村制實施ニ際シ茨城縣知事ハ自治體組織ニ必要ノ爲メ同  
年三月縣令甲第十二號ヲ發シ從前ノ町村ヲ分合スルト共ニ飛地ハ各其所在地ノ町村ニ編入  
シ其執行ハ三月三十一日ヨリスルコトトセリ然ルニ豐田郡蘆岡村ハ同郡玉村ノ地内ニ飛地

ナリテ存シ蘆岡村カ公法上ノ權利ヲ執行シ該飛地ハ蘆岡村ノ村稅ヲ負擔シ蘆岡村ハ該飛地  
ノ地租ニ依テ同村公民ノ資格ヲ享セリ加之縣知事モ亦右飛地ニ對スル徵稅令書ハ今日ニ  
至ル迄蘆岡村ニ對シテ發シ蘆岡村ヨリ右飛地ノ地租ヲ徵收上納シタル事跡アルニモ拘ハラ  
ズ被告ハ右縣令ノ執行ヲ名トシ同村長タル原告ニ右飛地ノ地籍引渡ヲ迫リタルニ原告ノ之  
ニ應セサリシハ縣知事ノ正當職權ヲ以テ發シタル命令ニ抵抗シ村長タル職務ヲ盡サハル者  
ナリトシ町村制第百二十八條ノ懲戒裁判ヲ開キ原告ヲ解職セリ抑縣令甲第十二號ハ町村制  
實施ニ際シ自治體組織ニ必要ノ爲メ發シタルモノナレハ同令ヲ以テ違シタル町村區域ノ分  
合ハ町村制實施ノ日即チ明治二十二年四月一日以前ニ處分ヲ結了シ其日ヨリ此新區域ニ對  
シテ町村制ヲ實施スヘキ者ナリ故ニ若シ此執行期限内ニ町村ノ分合處分ヲ結了シ得サリシ  
本件ノ如キハ既ニ其期日ヲ經過シタルモノナルニ依リ縣令甲第十二號ヲ以テ分合ヲ爲シ得  
サルノミナラス舊町村ハ其分合處分ヲ受ケサルマ、自治體ノ資格ヲ享有スルコト至ルヲ以テ  
該令ヲ之ニ適用シ得サルハ勿論ナリトス本件ノ事實ハ右ノ如クコシテ該飛地ノ所在地ナル  
玉村ハ固ヨリ監督官廳ニ於テモ毫モ故障ナク二三ノ年月ヲ經過シタルヲ以テ視レハ該飛地  
ノ今日猶ホ蘆岡村ノ所屬タル事ハ明瞭ナリ且縣知事モ亦右飛地ノ徵稅令書ハ今日ニ至ル迄  
蘆岡村ニ對シテ發シ該村ヨリ右飛地ノ地租ヲ徵收上納シタル事跡アルヲ以テ縣知事ハ訴願  
裁決書ニ此所爲ヲ辯護シテ「未ダ地所ノ受渡ヲ執行セサルカ故ニ徵稅法ノ則ニ依リ其地籍  
ノ所在地ニ令書ヲ發シタルニ過キヌ云々」ト云フモ到底自家擅著タルヲ免レスシテ該飛地



ノ地籍ハ今日猶舊齋飼村ニ現存スル事ハ其認ムル所ナラスヤ若シ縣令甲第十二號ノ違テ爲  
 フタルノミニテ別ニ各箇ノ飛地ニ對シ組替ノ處分ヲ施サ、ルモ尙ホ飛地ハ該令執行ノ期日  
 ニ於テ各所在ノ町村ニ自ラ地籍ヲ移シモノトセハ監督官廳並ニ玉村ハ齋飼村カ玉村ノ地所  
 ニ對シテ公法上ノ權利ヲ執行スルヲ抽手傍觀スヘカラサルノミナラス徵稅令書ノ如キハ地  
 籍ノ所在無即チ玉村ニ向テ發スヘキハ當然ナリトス而シテ縣知事ハ僅カニ其地所ノ受渡ヲ  
 執行セサルノ一事ヲ以テ自家掩著ノ譏ヲ免レントスルモ地所ノ受渡ナルモノハ地籍ノ移轉  
 ニ必要ナル要素ニアラサルノミナラズ若シ村長ニ於テ地所ノ受渡ヲ拒ム事猶舊村長ノ  
 如ク終始除限ナキ時ハ右飛地ニ對シテ齋飼村ハ終始公法上ノ權利ヲ行ヒ徵稅令書モ亦終始  
 齋飼村ニ對シテ發スルノ奇觀ヲ呈スルニ至ルヘシ之ヲ要スルニ縣令甲第十二號ヲ以テ飛地  
 ノ所屬ヲ定メタルモ齋飼村ノ飛地ハ該令ノ執行期日內ニ組替ノ處分ヲ受ケス齋飼村ノ一部  
 分トシテ町村制ノ實施ヲ受ケタル以上ハ今日ニ於テハ齋飼村ノ一部ト見做サ、ルヘカラス  
 故ニ之カ分合ヲ爲サンニハ町村制第四條ニ依ルヘキモノニシテ縣令甲第十二號ハ今日ニ於  
 テ強行シ得ヘキ者ニアラス假リニ一步ヲ讓リテ右飛地ノ地籍ハ既ニ玉村ニ移轉シ了リタル  
 者トスレハ村長ニ於テ地籍ノ移轉ニ關シテ盡スヘキ手續ハ法律上毫モ之レアルコトナシ依  
 テ明治二十四年六月十七日原告村長ヲ解職シタルハ不當ナルコト付是レカ取消ヲ請求スト謂  
 フニ在リ

被告答辯ノ要旨ハ明治二十三年町村制實施ニ際シ知事ハ縣令甲第十二號ヲ發シ舊町村ヲ分  
 合シテ新町村ヲ造成スルト共ニ飛地ノ所屬ヲ定メタリ故ニ齋飼村大字齋ノ飛地モ該令施行

ノ日ヲ以テ玉村ノ所屬ニ移ルハ勿論ナリトス然レトモ其當時ニ在テハ未ダ新村機關ノ組織  
 完成ナラサルヲ以テ一時元戶長ヲシテ便宜新村事務ノ取扱ヲ爲スニ至レリ然ルニ未ダ其地  
 籍受渡ノ手續了ラサル間ニ新村長即チ原告カ就職シタルモノナレハ所謂繼續未滿ノ事務  
 トシテ原告カ繼承處理スルハ固ヨリ當然ノ事柄ナリ然ルニ原告ハ之ヲ等閑ニ付シ去リ其執  
 行ヲ爲サ、ルニ依リ被告ハ監督上層々之レカ執行ヲ促シ或ハ召喚シテ其執行ヲ命スルコト  
 再三ニ及フト雖モ毎ニ言サ左右ニ托シテ履行セサルノミカ結局縣令甲第十二號違ニ服從  
 ル能ハサル旨ヲ斷言セリ之レ懲戒裁判ヲ以テ解職シタル所以ナリ原告カ職務ヲ盡サ、リシ  
 事實ハ大畧此ノ如シ然ルニ原告ハ被告カ解職處分ヲ爲シタルハ不當ニシテ原告ノ權利ヲ傷  
 害シタル者トセリ今其所見ニ從フモ町村區域ノ分合ハ三月三十一日ヲ以テ既ニ確定ノモノ  
 ナルニ依リ之ニ伴隨スル事務ノ結了カ同日以後ニ涉リシトテ是レカ爲メ縣令ノ效力ヲ滅却  
 シ得ヘキモノニアラス次ニ原告ハ齋飼村飛地ハ縣令甲第十二號ノ執行期限內ニ組替ノ處分  
 ヲ受ケス依然齋飼村ノ所屬トナリテ存シ公法上ノ權利ヲ執行シ縣知事モ亦該飛地ノ徵稅令  
 書ハ今尙齋飼村ニ對シテ發スルヲ以テ觀ルモ飛地ノ地籍ハ尙齋飼村ニ現存スル事ハ知事モ  
 認ムル處ナリト云フニ至テハ殆ント辯明ノ必要ナキヲ信スト雖モ茲ニ一言セサルヘカラス  
 抑モ飛地組替ノ事ニ付之レカ事務ヲ處理スルハ村長其者ノ職務ニアリ故ニ飛地ノ地籍カ今  
 尙齋飼村ニ在ルコトハ畢竟原告カ其職務ヲ盡サ、リシ結果ニアラスヤ然ルニ原告ハ自己ノ  
 責任ヲ願ルナク徒ラニ附會シテ依然齋飼村ノ所屬ナリトハ不當ノ言ヲ免カレヌ況ンヤ縣知  
 事カ徵稅令書ヲ齋飼村ニ對シテ發シタルノ故ヲ以テ依然齋飼村ノ所屬ト認メタリトハ云フ



ヲ得ス如何トナレハ飛地ノ所屬ハ業已ニ確定スト雖モ地租ハ土地臺帳記名者ヨリ徵收スヘキ成規ナレハ假令玉村ニ向テ徵稅令書ヲ發スルモ未タ土地臺帳ノ甲乙加除成シサル間ハ玉村ニ於テ之ヲ徵收シ得サルハ理ノ最モ親易キ所ナリ故ニ地籍受渡ノ申告ナキ間其徵收ヲ蠲餉村ニ求ムルハ毫モ失當ノ處置ニアラスト信認ス之ヲ要スルニ原告カ縣令甲第十二號ヲ無效視シ更ニ町村制第四條ニ據ルヘキモノナリト推論スルハ畢竟町村制第四條ハ該制度ノ實施後始メテ廢置分合ヲ要スル場合ニ適用スヘキモノニシテ其以前ノ處分ニ對シテハ毫モ關係ナキヲ了解セサルニ由ルノミ以上ノ理由ニ依リ明治二十四年六月十七日被告カ爲シタル裁決ハ適法ニシテ原告ノ權利ヲ傷害シタルモノニアラス依テ原告ノ請求ヲ排斥セラレンコトヲ乞フト謂フニ在リ

依テ雙方ノ辯論ヲ聽キ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ  
 原告ハ明治二十二年三月十五日縣令甲第十二號ヲ以テ町村分合及飛地組替ノ事ヲ公布シ之ヲ同月卅一日ヨリ施行ストセリ而シテ其翌四月一日ヨリハ此新區域ニ對シテ町村制ヲ實施スヘキモノナレハ施行期限內即チ三月卅一日ヲ經過スレハ該令ヲ施行シ得サルヘキニ付舊町村ハ從來ノ儘自治體ノ資格ヲ享有スヘキナリ且宇鯨飛地ハ今日ニ至ルモ尙蠲餉村ノ村稅ヲ負擔シ縣知事モ亦依然該飛地ニ對スル徵稅令書ハ蠲餉村ニ向テ發シ蠲餉村モ亦該地ノ租稅ヲ徵收上納シタルカ故ニ官廳及蠲餉村ハ共ニ該飛地ハ蠲餉村ノ所屬タルコトヲ認メタルモノナルニ因リ四月一日後ニ在テハ町村制第四條ニ依リ處分ス可キモノナリト云ト雖モ該飛地組替ハ縣令甲第十二號ニ依リ既ニ確定シ唯其殘務タル手續ヲ結了セサルノミナレハ之ヲ以テ町村制實施

後ニ生シタル事件ト同視シ同制第四條ヲ適用スヘキモノニアラス要スルニ新法實施ノ際ニ臨ミ舊事務ノ結了セサルニ其儘就職シタル以上ハ該飛地ニ關スル處分ノ殘務ヲ整理セサル可ラス然ルニ之ヲ等閑ニ付シ屢郡長ノ諭示ヲ受ルニモ拘ラス知事カ蠲餉村ニ向ツテ徵稅令書ヲ發シタルコトヲ牽引シ故ラニ引渡手續ヲ爲サ、ルハ命令ニ背戾シタルモノト言ハサルヲ得ス右ノ理由ニ依リ判決スルコト左ノ如シ  
 被告郡長カ明治二十四年六月十七日付テ以テ町村制第百二十八條ニ依リ爲シタル原告解職ノ懲戒裁判ハ之ヲ取消ス可キ理由ナキモノトス  
 訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

○ 裁判宣告書

愛知縣額田郡岡崎町會議長

原告 玉置 政治

愛知縣額田郡岡崎町長

被告 玉置 政治

同町助役

代理人 岡田 辰次郎

右原告岡崎町會議長ヨリ被告岡崎町長ニ對スル訴訟權爭論ノ訴文書ニ就キ遂審理處  
 原告申立ノ要旨ハ明治二十四年四月七日愛知縣額田郡長針谷重愷ハ第一號證ノ通り告示第



十二號ヲ以テ郡會議員配當ヲ定メタリ依テ岡崎町長ハ郡會議員選舉ノ爲メ町會議員ヲ召集シタルニ明治二十四年四月十八日右選舉開會ニ際シ町會ハ額田郡長ノ議員配當告示及町長カ報告シタル議員ノ員數ニ付熟考スルニ岡崎町ハ人口一万五千有餘ニシテ議員ノ數僅ニ一人他ノ村々ハ人口三千ニ滿シサルニ議員一人又二村ヲ併セ人口五千弱ニシテ議員二人トスルアリ此配當ハ明治二十三年法律第三十六號郡制第五條第二項ノ明文ニ違背シタル配當方法ト認メタルヲ以テ其更正ヲ求ムルノ訴願ヲ上級官廳ニ爲サントノ議決ヲ爲シタル然ルニ岡崎町長ハ町會ノ決議ハ權限ヲ越ヘタリト爲シ明治二十四年四月二十五日ヲ以テ町制第六十八條ニ依リ再議ニ付シタルモ町會ハ毫モ越權ニ非ストシ前議ヲ更メサリシヲ以テ町長ハ町會カ議決シタル訴願ノ執行ヲ停止シ尙町制第六十八條ニ依リ額田郡長ノ議決ヲ求メタルニ額田郡長ハ權限ヲ越ヘタルモノトノ裁決ヲ與ヘタルニ依リ愛知縣知事ノ裁決ヲ請ヒタルニ知事ハ郡會議員配當ノ當否ニ對シテハ法律勅令ヨ於テ訴願ノ方法ナキニ依リ之カ訴願ハ權限ヲ越ヘタルモノナリトノ裁決ヲ爲シタルヲ以テ本訴ヲ提起シタルモノニシテ元來町會ハ郡會議員ノ配當ヲ議定シタルニアラズ違法ノ配當ヲ受ケタルニ依リ權利伸張ノ爲メ之カ更正ヲ訴願セント議決シタルニ過キス何故ニ自治體ノ權利得喪ニ係ル事件ヲ議決シタル事柄カ越權ナリトスルヤ假リニ議員配當ノ當否ニ就テハ訴願ノ手續カ法令ニ規定ナキヲ以テ其事柄カ無効ニ屬スルトスルモ之ヲ越權ナリト謂フヲ得ス之ヲ越權ナリトセハ無効ハ越權ナリト云フモノニシテ二者ノ性質ヲ混同スルモノト云フヘン按スルニ町制第二百一十條一項ハ上級官廳ノ處分若クハ裁決ニ對スル普通ノ概則ニシテ何等ノ事柄モ之ニ背馳セサ

ル以上ハ訴願ノ權利ヲ有スル規定ニシテ町制制ニハ彼ノ列舉訴願ト此普通訴願トアルハ昭然ナリ而シテ同條中町制ノ行政トハ如何ナル事柄ヲ意味スルヤト云ハ、即チ町制ニ對スル法律命令ノ執行ハ其町村ノ行政ナリト云ハスシテ何トカ云ハシテハ郡會議員配當ノ一事モ亦町村ニ對スル行政ニ外ナラズトス若シ夫レ本訴ノ訴願ヲ議決シタルハ越權ナリトセンカ町村制中訴願禁止ノ規定ナケレハ其越權ナリヤ否ハ被告ノ職權ニアラズシテ監督官廳ノ職權ニ屬スト云ハサルヲ得サルナリ是ヲ之レ思ハスニテ妄リニ議權ヲ妨止シタルハ不法ナリト云フニ在リ

被告答辯ニ要旨ハ明治二十四年四月十八日郡會議員選舉ノ際ニ於テ町會ハ額田郡長ノ告示シタル郡會議員配當ハ郡制第五條第二項ニ違背シタルモノナルヲ以テ該選舉ヲ中止シ更ニ適法ノ配當ニ更正セラレノコトヲ訴願セント議決セリ然ルニ該訴願ハ法律勅令ニ於テ之ヲ許シタルモノナケレハ町會ニ於テ議決スルヲ得サル所以ヲ辯明スト雖町會ハ之ニ服セズシテ議決シ了レリ依テ被告ハ町制第六十八條第二項ノ一ニ依リ自己ノ意見ヲ以テ議決ノ執行ヲ停止シ更ニ理由ヲ示シテ再議セシメシニ町會ハ其前議ヲ更メサリシカハ已ムヲ得ス郡長ニ訴願シテ其裁決ヲ受ケタルニ町會ハ之ニ服セズ縣知事ニ訴願シ更ニ裁決ヲ受ケタルニ仍ホ之ニ服セズシテ本訴ヲ提起シタルニ至リシナリ抑訴願ハ法令中ニ規定シタルモノナラサルヘカラス然ルニ原告ハ斯ル場合ニ於テ訴願ヲ禁スルノ法令ナキヲ以テ見レハ一般ノ法理ニ依リ救正ノ訴願ヲ爲シ得ヘント云フト雖是原告カ法律上有スル權利ニ非スシテ憲法立法部ニ對スル企望ニ外ナラス又其企望ヲ達スルニハ必其方法ニ依ラサルヘカラス而シテ法文



上之カ方法ナキヲ奈何センヤ又原告ハ郡長カ爲シタル郡會議員配當ハ町村ニ對スル行政事務ノ一部ナレハ即チ郡長ノ爲シタル處分ナリ而シテ郡長ノ處分ニ對シテハ町村制第百二十條ニ依リ訴願スルコトヲ得ト云ヘリ是頗ル同條ヲ誤解セルモノナリ何ントナレハ制第百二十條ニハ郡長若クハ郡參事會ノ處分若クハ裁決トアリ郡會議員ノ配當ハ郡會ノ議決ニ依リ府縣知事ノ認可ヲ經ヘキモノニアラスヤ當時未ダ郡會成立セサレハ郡制第八十六條ニ依リ郡長之ヲ攝行スト雖其資格ニ至リテハ行政機關タル郡長ノ處分ト代議機關タル郡會ノ議決トハ劃然區別アルモノトス故ニ町村制第百二十條ニハ據ルヲ得サルモノトス又原告ニ於テハ越權ト無効トヲ混同スルモノナリト云フハ知事ノ裁決ヲ誤認セシモノニ外ナラス即チ町會カ法令ニ規定セサル訴願ヲ爲サント議決シタルハ越權ニシテ而シテ法令ノ規定セサル訴願ヲ爲サント議決スルモノ之ヲ提出スル方法ナク之ヲ受理スル官廳ナシ果シテ然ラハ議決ノ無効ヲラサルヲ欲スルモ得ンヤ之ヲ要スルニ郡會議員配當ニ關スル郡會ノ議決若クハ法律ノ解釋ヲ異ニスルヨリ生スル訴願ハ法律勅令中之ヲ許シタルモノアラス其之ヲ許シタルモノナクシテ之カ訴願ヲ提起センコトヲ議決ス則權限ヲ越ヘタルモノト謂ハサルヲ得スト云フニ在リ

依テ證據ヲ閱シ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

本件争點ノ歸スル所ハ愛知縣額田郡長カ郡制第五條第八十六條ニ依リ縣知事ノ認可ヲ經テ告示ヲ爲シタル郡會議員配當法ニ對シ岡崎町會カ之ヲ不當トシテ訴願セントノ議決ヲ爲シタルハ越權ナリヤ否ニ在リトス抑郡會議員ノ數ハ郡制第五條ニ依リ郡會ニ於テ議決シ府縣知事ノ

認可ヲ受ケテ定ムルモノナレハ町會ニ於テハ其議員ノ定數ニ對スル選舉ノミヲ行フヘキニ町會ニ於テ郡會議員配當ノ當否ニ論及シ之カ改正ヲ求ムルノ方法ヲ議決シタルハ法律上町會ニ與ヘタル權限外ニ涉ルモノト謂ハサルヲ得メ故ニ被告岡崎町長リ其執行ヲ停止シタルハ不適法ノ處置ニアラス

右ノ理由ニ依リ判決スルコト左ノ如シ

原告ノ請求相立タス

訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

明治二十四年十一月二十日行政裁判所公廷ニ於テ宣告ス

○ 裁 決 書

岐阜縣美濃國各務郡芥見村外一ヶ村  
組合村長

原 告 龜 山 謙 二

右原告龜山謙二ヨリ被告岐阜縣知事小崎利準ニ對スル違法處分取消ノ件ヲ訴狀ニ就テ審査スルニ被告カ明治二十一年中芥見村外九箇村用水路新設ノ爲メ甲第一號證ノ如ク芥見村ヲ該聯合區域ニ編入セシハ明治九年第百三十號布告ノ趣旨ニ違フモノナルコト依リ之カ取消ヲ要求スト云フニ在リト雖甲第一號證ハ當時ノ編入手續伺書ニ對シ岐阜縣厚見各務方縣郡長阿部直輔カ其手續ヲ示シタル指令書ニシテ行政廳ノ爲シタル處分書裁決書又ハ告知書ト云フヲ得サルニ付本件ノ處分ヲ受ケタル二十一年ヨリ起算スルトキハ行政裁判法第二十二條ノ期限ヲ經過



シタルモノナルニ依リ行政訴訟ヲ提起スルヲ得サルモノトス  
右ノ理由ナルヲ以テ本訴ハ行政裁判法第二十七條ニ依リ之ヲ却下ス

明治二十四年九月二十二日行政裁判所ニ於テ裁決ス

○裁決書

茨城縣下總國結城郡江川村大字七五  
三塲十番屋敷平民農

原告 船橋 文彌

右原告船橋文彌ヨリ茨城縣下總國結城郡江川村村長大島宗助ニ對スル有給吏員ノ給料ニ關スル件訴狀ニ就テ審査スルニ

原告訴求ノ要旨ハ原告ハ結城郡江川村役場書記在職中ニ係ル明治二十二年六月ヨリ九月ニ至ル四箇月間俸給其他實費辨償額ノ拂渡ヲ被告村長ニ請求スルニ拂渡ヲ爲サ、ルニ依リ町村制第七十八條ニ從ヒ原告提供甲第十號證ノ金三十六圓四十五錢ト明治十年太政官布告第六十六號利息制限法第三條ニ依リ法律上ノ利息金四圓三十九錢四厘トヲ合計シ速ニ被告ヨリ償却スヘシトノ裁判ヲ請求スト云フニ在ルモ本件ハ給料其他支給ヲ受クヘキ金員ノ拂渡ヲ請求スルモノニシテ町村制第七十八條ノ給料ニ關スル異議ニ非サルヲ以テ原告ハ行政訴訟ヲ提起シ得ヘカラサルモノトス

右ノ理由ナルニ依リ行政裁判法第二十七條ニ依リ本件ハ之ヲ却下ス

明治二十四年十月十九日行政裁判所ニ於テ裁決ス

○裁決書

大分縣日田郡西有田村外十九箇町村

元組合管理者日田郡光岡村長

原告 長野 直恕

被告 大分縣日田郡長

被告 小倉 左文

右原告長野直恕ヨリ被告小倉左文ニ對スル組合會議決取消ニ關スル件ヲ訴狀ニ就テ審査スルニ依リ  
明治二十四年二月二十一日大分縣日田郡西有田村外十九箇町村組合ハ民費殘額共有金ノ内金二千三百八十三圓ヲ各町村基本財産トシテ割與スルノ議決ヲ爲シタルニ依リ組合會管理若ハ同年三月二日付ヲ以テ被告小倉左文ニ報告シタルニ被告ハ該議決ヲ以テ共同事務ノ區域ヲ超越シタルモノニシテ其當ヲ得サルモノトシ速ニ取消スヘキ旨ヲ達シタルモ取消スヘキ理由ヲ發見セサルニ依リ同年三月三十一日付ヲ以テ組合會議決ノ通り執行スヘキ旨届出タル處同年四月一日該議決ハ取消スヘキモノニ付受理スルノ限ニアラストシテ之ヲ却下シテ依テ町村制ノ規定ニ從ヒ同年四月九日大分縣知事ニ訴願セシコ同年五月七日裁決書ヲ以テ訴願ヲ却下セラレタルモ組合會ハ毫モ其權限ヲ超越シタルモノニ非サルヲ以テ組合會議決ノ通執行セシコトヲ町村制第二十條ニ依リ訴求スト云フニ在リト雖町村制第二十條ハ府縣知事若クハ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル場合ニ於テ內務大臣ニ訴願スルヲ許シタルモノニシテ行政訴訟ヲ爲シ得ルノ場合ヲ規定シタルモノニ非サルニ依リ行政訴訟トシテ出訴スルヲ得サルモ



ノトス

右ノ理由ニ依リ行政裁判法第二十七條ニ依リ之ヲ却下ス  
明治二十四年六月十六日行政裁判所ニ於テ裁決ス

○裁判宣告書

新潟縣越後國中頸城郡上杉村大字所  
山田平民農

原告 山本與三治

同縣同國同郡同村同字平民農

同 山本才治郎

同縣同國同郡同村大字岡田平民農

同 松井竹次郎

東京府芝區愛宕下町二丁目三番地平民  
民代言人

右代理人 福住潤治郎

新潟縣越後國中頸城郡上杉村村長

被告 上田良平

右原告山本與三治外二名ヨリ被告上田良平ニ對スル教育費賦課令狀取消ノ件審理ヲ遂クル處  
原告陳述ノ要旨ハ明治二十二年法律第十一號ヲ以テ從來開設シタル水利土功會又ハ學事ニ

關スル町村聯合會ハ明治十七年第十四號布告ニ依リ又學區會ハ同法第十四條第十五條ニ準  
據シ市制町村制施行後ト雖別ニ規定ヲ設ルマテ之ヲ存續スルコトヲ得トアリ而シテ該法律  
ハ各縣行政上異同アルヲ以テ便宜ノ爲メ別ニ規定ヲ設クルマテ縣知事ニ存否ノ權ヲ與ヘ且  
知事ハ市町村行政ヲ監督スルモノナルヲ以テ當時ノ縣令篠崎五郎ハ新潟縣地方ハ學區會ヲ  
從前ノ如ク存續スルヲ適當ナリト思料シ明治二十二年四月二日縣令第三十三號ヲ以テ學區  
會ハ從前ノ通存續スル旨ヲ令シタルモノナレハ依然學區會ナルモノハ存立シ凡テ學事ニ關  
スル議決ヲ爲スヘキナリ然ルニ上杉村村長ハ學區會ノ議決ヲ經テ明治二十二年度教育費ノ  
賦課令狀ヲ發シタルハ市制町村制ニ違フノミナラス縣令ニ違反シタルモノナルヲ以テ村會  
ヘ訴願シタルニ村會ハ不分明ナル理由ヲ以テ同村村長ノ所爲ハ縣令ニ違背ナキモノト裁決ヲ  
爲シタルニ依リ出訴人ハ郡參事會ヘ訴願シタル處同會ハ村長ノ裁決ハ不當ナリト旨ヲ裁  
決シタルニ服セス村長ハ之ヲ縣參事會ニ訴願シタルニ同會ハ郡參事會ノ裁決ハ不當ナリト  
裁決セリ抑縣令第三十三號ニ於テ學區會ハ從前ノ如ク存續ストアル以上ハ學區會ニ於テ教  
育費ヲ議決シ然ル後賦課令狀ヲ發スヘキモノナルヲ然カセサルハ村長ノ越權ナリ且縣令第  
三十三號ニ違背シタルコト明瞭ナルニモ拘ハラズ縣參事會ハ該縣令ノ解釋ヲ止メ法律第十  
一號ヲ解釋シ同法ニ之ヲ存續スルコトヲ得トアルハ便宜上即チ市制町村制ニ於テ學區會ト  
區域同シトキハ存續スルノ必要ナシ然レハ縣令第三十三號モ又其意ニ外ナラントノ見解ナ  
ルモ法律第十一號ハ別ニ規定ヲ設クルマテ云々トアレハ其精神ヤ必ス行政監督ニ一任セシ  
ニ過キサルナリ且新潟縣令ニ存續ストアルハ命令法ニシテ即チ學區會ニ對スル行政監督コ



リノ命令ナレハ縣知事ニ其監督權アルヤ必セリ而シテ同參事會ノ意見ハ取モ直サス縣令ハ人民ニ於テ遵守スルノ義務ナク隨テ同令ハ無効ナリトノ說明ヲ爲ス如シ豈斯ノ如キ道理アラシヤ然ルニ前記ノ理由ニテ裁決シタルハ不當ナレハ新潟縣參事會ノ裁決ヲ取消且上杉村村長ノ發シタル賦課令狀ハ無効トセラレシコトヲ請求スト云フニ在リ

被告答辯ノ要旨ハ明治十七年五月第十四號布告區町村會法ハ市町村制實施ト共ニ廢滅ニ歸シタリ然レトモ事數町村ニ涉リ若クハ一町村内ニ於テ利害ノ關係ヲ異ニスルモノハ之カ處分法ヲ規定セサルヘカラス故ニ明治二十二年法律第十一號ヲ以テ學區會水利土功會等ヲ存續スルコトヲ得セシメタルモノニシテ本縣令第三十三號モ矢張事數町村ニ涉ルモノ若クハ一町村内ニ於テ利害ノ關係ヲ異ニシ到底一町村ニ於テ處置スル能ハサル場合ノ學區ニ向テ發シタル命令ナルヤ明カナリ果シテ然ラハ地方自治ノ今日ニ在リテ町村ト學區ト其區域相伴フ上杉村ノ如キハ村會ノ議決ニ依リ賦課令狀ヲ發シタルモノ固ヨリ法律ニ違背スルモノニアラス故ニ原告ノ要求ニ應ジ難シト云フニ在リ

依テ證據ヲ審閱シ說明スル左ノ如シ  
原告ハ被告カ學區會ノ議決ヲ經スシテ明治二十二年度教育費ノ賦課令狀ヲ發シタルハ新潟縣令第三十三號ニ違背シタルモノナリト云フト雖明治二十二年法律第十一號ハ學區ノ數町村ニ關涉スル等ノ場合ニ適用スヘキ法律ナルコトハ同法中學區會ハ明治十七年五月第十四號布告區町村會法第十四條第十五條ニ準據シ云々トアリテ其第十四條第十五條ハ區町村會ニ於テ議決シ能ハサル場合ノミニ關スル規定ナルヲ以テ明カナリ而シテ新潟縣令第三十三號ニ法律第

十一號ニ依リ云々アルヲ以テ見レハ本件ノ如キ學區ト町村區域ト相伴フ場合ニ於テハ之ヲ適用スヘカラスアルモノト解釋セサルヲ得ス故ニ被告ニ於テ村會ノ議決ニ依リ教育費ヲ徵收シタルハ不當ナリト云フヲ得ス

右ノ理由ニ依リ判決スル左ノ如シ  
原告ノ請求相立タス

訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

明治二十四年七月十日行政裁判所公廷ニ於テ宣告ス

○ 裁判宣告書

石川縣珠洲郡會議長

原告 國枝 逸蟻

石川縣珠洲郡長

被告 國枝 逸蟻

右原告珠洲郡會議長國枝逸蟻ヨリ珠洲郡長國枝逸蟻ニ係ル不當處分取消ノ訴訟其文書ニ就キ審理ヲ遂クル處

原告請求ノ要旨ハ被告郡長ハ明治二十四年九月四日珠洲郡會ニ於テ爲シタル郡費分賦額ノ決議ハ郡制第六十二條ニ違背シタル旨ヲ以テ第一號證ノ如ク其執行ヲ停止シテ再議ニ付シタルモ郡會カ其前議ヲ更メサルニ由リ被告ハ縣知事ノ裁決ヲ仰テ第三號證ノ如ク之ヲ郡會ニ報告セリ然ルニ郡制第六十二條ニ各町村前年度ノ直接間稅稅ノ徵收額ニ據ルトアル



ハ唯郡費ヲ附加スヘキ税目ヲ規定シタル迄ニシテ該徵收額ヲ目安トシ分賦スヘキコトヲ規定シタルモノニアラス即チ如何ナル歩合ヲ設ケテ分賦スルモ郡議會ノ權内ニ屬スルモノト解釋セサルヘカラス故ニ郡會ハ其處分ニ服スル能ハサルニ依リ裁判ヲ仰シト云フニ在リ被告答辯ノ要旨ハ珠洲郡會ニ於テ議決セシ明治二十四年度郡費町村分賦額ハ前年度直接國稅府縣稅ノ徵收額ニ各五分ノ歩合ヲ設ケ賦課セントスルモノナレハ法律ニ反スルニ由リ再議ニ付シ尙縣知事ノ裁決ヲモ報告セシカ之ニ服セサルモノニシテ其爭フ所ハ畢竟法律ノ解釋ヲ異ニスルニ在リ原告ハ郡制第六十二條ノ各町村前年度直接國稅府縣稅ノ徵收額ニ據ルトアルハ唯其郡費ヲ附加スヘキ税目ヲ示シタルモノニシテ其兩稅ヲ合算シテ分賦スルモ又如何ナル歩合ヲ設ケテ分賦スルモ郡議會ノ意見ニ任シタルモノナリ郡會カ實際ニ適當ナル割合ヲ設ケテ分賦スルハ違法ニアラスト主張スルモ郡制第六十二條ニ直接國稅府縣稅ノ徵收額ニ據ルトアルハ其兩稅ヲ合算セシ總徵收額ニ分賦スヘキ法文ニシテ原告云フ如キ郡費ヲ附加スヘキ税目ヲ示シタルモノニアラサレハ其兩稅ニ歩合ヲ設ケテ賦課セントスルハ法律ノ許サ、ル所ナリ故ニ被告カ發シタル議案ノ如ク總徵收額ニ分賦スヘキハ當然ナルニ郡會ハ法律ノ解釋ヲ誤リタルモノナリト云フニ在リ

依テ證據ヲ閱シ理由ヲ説明スル左ノ如シ

郡制第六十二條ニ前年度直接國稅府縣稅ノ徵收額ニ據ルトアルハ即チ前年度兩稅ノ徵收總計額ニ準據シテ各町村分賦ノ割合ヲ定ムヘキ旨ヲ規定シタルモノナレハ歩合ヲ設ケ分賦スルハ法律ノ許サ、ル所ナリ故ニ本件珠洲郡會カ明治二十四年度郡費町村分賦額ヲ議スルニ當リ第

二號證ノ如ク前年度直接國稅府縣稅ノ徵收額ニ歩合ヲ設ケ賦課セントスルヲ被告カ違法ノ決議ナリトシテ處分シタルハ不當ノ措置ニアラストス  
右ノ理由ニ依リ判決スル左ノ如シ

原告ノ請求相立タス

訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

明治二十四年十二月九日行政裁判所公廷ニ於テ宣告ス

現新潟縣法規類纂三編 終



明治廿五年三月廿一日印刷  
全年全月廿二日出版

正價金五拾錢

新潟縣新潟市學校町通二番町  
四百六番戶

編輯者 早川教忠

新潟縣新潟市本町通七番町  
五番戶

發行者 櫻井產作

新潟縣新潟市東堀前通九番町  
九番戶

印刷者 高橋新吉







